

地域社会との共生

マテリアリティ設定の背景

ムラタは、創業者の理念のもと、そこにムラタがあることが、その地域の喜びであり、誇りである企業、ムラタで働くことが、従業員の喜びであり、誇りである企業でありたいと願い、地域社会の一員としてさまざまな貢献活動に取り組んできました。

近年、事業展開地域からムラタへの期待の高まりを受け、これまで以上に取り組みを強化させることが理念の実現に向けて必要と考え、当マテリアリティを設定しました。

目指す姿

事業環境の変化にかかわらず地域との調和を保ち、ムラタが地域にとっての誇りであることを目指します。

地域課題の解決に向けた貢献活動を推進

Vision2030のありたい姿を目指して、創業者の理念のもと、地域の皆様とのコミュニケーションを大切にし、地域課題の解決につながる貢献活動を推進しています。具体的には、5つの重点分野「次世代育成支援」「地域社会への支援」「環境保護」「文化支援」「学術支援」を設定し、「社会・地域貢献活動ガイド

ライン」に従って、グループ各社が主体的に地域の状況に応じて注力する分野を定め、社会・地域貢献活動を企画・実行しています。

事業活動においても国内外の各事業所で地域の影響を顧みながら従業員の採用を積極的に地元から行うなど地域社会の活性化と雇用創出に努めています。

TOPICS

ムラタでは、本社が所在する京都府長岡京市と持続可能な地域発展を目指して協力することを目的に包括連携協定を締結しました。



JR長岡京駅前広場再整備における広場照明用電力のゼロカーボン化や、市内小学校で「AIRSual（エアジュアル）」を活用したCO₂濃度の見える化の実証実験を行うなどさまざまな側面で連携を進めています。

数字で見るムラタの社会・地域貢献

ムラタグループの社会貢献活動参加人数（2021年度）

1万4,288名（グループ総従業員の約18%）

ムラタグループの社会・地域貢献活動総支出額（2021年度）

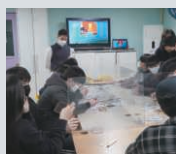
約588百万円

取り組み事例

Murata Electronics Europe B.V.（ドイツ）
経済的に困難な新入生向けに学校に必要なものを従業員から集めて寄付



韓国村田電子株式会社（韓国）
経済的に困難な児童向けの出前授業（太陽光の原理）を実施



金沢村田製作所（日本）
金沢美術工芸大学と提携し、学生考案の冬季イルミネーションを事業所内に設置・公開



村田製作所（日本）
みなとみらいイノベーションセンター内の子ども向け科学体験施設「Mulabo」を活用し、STEAM教育を推進



Murata Electronics Trading Mexico, S. A. de C. V.（メキシコ）
Centinela Forest（センティネラ・フォレスト）での植樹活動



深圳村田科技有限公司（中国）
卓球大会「ムラタカップ」の開催



Murata Electronics Philippines Inc.（フィリピン）
貧困世帯へ日用品・食料等の支援物資を寄付



台湾村田股份有限公司（台湾）
経済的に困難な児童へのクリスマスプレゼント＆パーティーを開催



社会・地域活動基本方針およびムラタグループの主な社会貢献活動一覧はこちらをご覧ください。
<https://corporate.murata.com/ja-jp/csr/people/society>